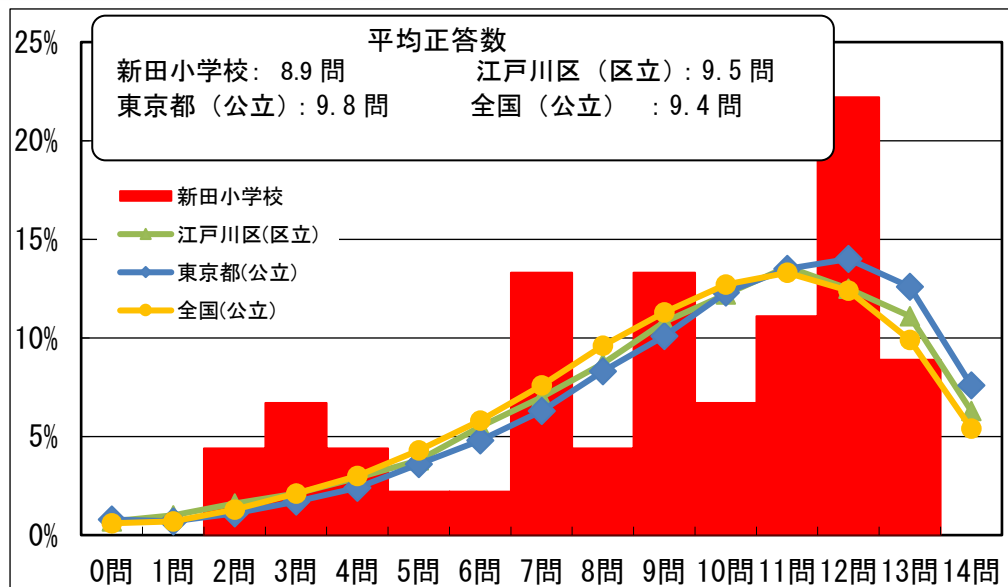


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 新田小学校

正 答 数 分 布



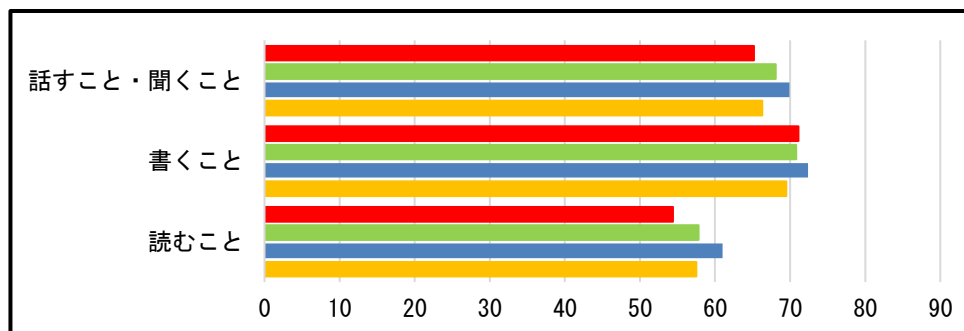
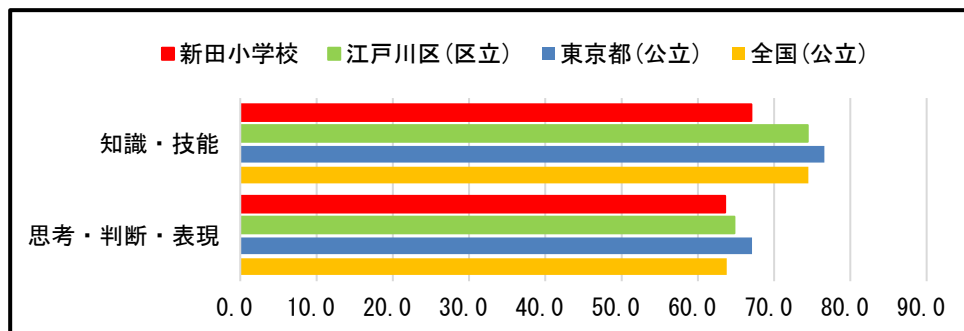
＜四分位における割合(都全体の四分位による)＞

上位 ← → 下位

国 語	A 層 12～14 問	B 層 10～11 問	C 層 8～9 問	D 層 0～7 問
新田小学校	31.1	17.8	17.7	33.2
江戸川区（区立）	30.0	25.8	19.5	24.7
東京都（公立）	34.4	25.8	18.4	21.4
全国（公立）	27.7	26.0	20.9	25.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

新田小学校	64%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	66.8%
都との差	6ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答率は、全国（公立）と比較すると2.8ポイント低い。また、東京都においては、6ポイントの差がある。領域別の全国平均については、思考・判断・表現についてはほぼ同じであるが、知識・技能はかなり低い。両方とも東京都平均より大きく低下している。話すこと・聞くこと、書くこと、読むことについては、全国平均とほぼ並んでいる。四分位に分けて見ると、A・D層は全国平均を上回った。B・C層は下回っている。C層はより丁寧な指導が求められる。全体として、自分自身で考える時間を保証し、課題解決ができる活動を設定する。さらなる学力向上を目指していきたい。